

層塔

仏教二千四百年の歴史とともに伝えられてきた仏塔の変遷がすなわち石造美術の歴史といえるでしょう。この数多い石造美術の歴史の中でも庭園の中に多く取り入れられてきたのが十三層塔を代表とする石塔の仲間です。

青空を背景にそそり立つ石塔を眺めていると、なぜか悠久の生命とでもいう心持ちになり、気力が満ちあふれてきます。さらに人間の持つ理想が天に向かって昇ってゆくようで、身も心も委ねると心を暖かく包んでくれます。



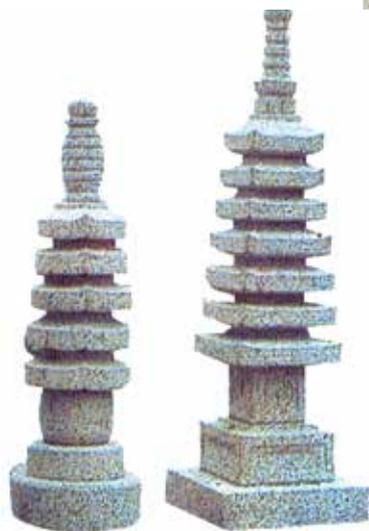
YGL-083
十三重の層塔

6.0尺 (1000kg)
8.0尺 (1500kg)
10.0尺 (2250kg)
12.0尺 (3000kg)
15.0尺 (5000kg)



YGL-088
五重の塔欄干付

6.0尺 (260kg)
8.0尺 (460kg)
10.0尺 (900kg)
12.0尺 (1600kg)



参考：写真は七重の層塔

YGL-090
五重の層塔 丸型

6.0尺 (250kg)
8.0尺 (450kg)
10.0尺 (850kg)
12.0尺 (1500kg)

YGL-089
五重の層塔 角型

6.0尺 (250kg)
8.0尺 (450kg)
10.0尺 (850kg)
12.0尺 (1500kg)
15.0尺 (3000kg)



YGL-084
五重の塔

6.0尺 (250kg)
8.0尺 (450kg)
10.0尺 (850kg)
12.0尺 (1500kg)
15.0尺 (3000kg)